

令和4年度 第1回 橋本市生活交通ネットワーク協議会 議事録

1. 開催日時

令和4年6月1日(水) 午後1:30~2:30

2. 開催場所

橋本市東家一丁目6番27号 橋本市教育文化会館 3階第1研修室

3. 出席者(24名)

会長

辻本 勝久 (和歌山大学経済学部 教授)

副会長

渋田 年男 (橋本市身体障害者連盟 顧問)

委員

堀川 憲一 (橋本市老人クラブ連合会 会長)

乾 幸八 (橋本市区長連合会 会長)

廣岡 慶三 (橋本市区長理事会 理事)

松田 良夫 (橋本市社会福祉協議会 会長)

矢野 佳世子 (橋本市女性会議 会長)

小林 弘 (橋本市議会 議長)

岡本 安弘 (橋本市議会 総務委員)

鈴木 健 (国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局 首席運輸企画専門官)【代理出席】

一ノ瀬 健 (国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局 首席運輸企画専門官)

下村 敏文 (西日本旅客鉄道(株) 橋本駅長)

大森 幸宏 (南海りんかんバス(株) 取締役社長) 【代理出席】

川村 昌彦 (有鉄観光タクシー(株) 取締役社長) 【代理出席】

平岡 明義 (大阪第一交通(株)橋本営業所 所長)

木村 泰雄 (南海りんかんバス(株) 従業員代表)

藤本 昇三 (橋本市民病院事務局総務課 課長)

梅本 英雄 (国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 道路管理第一課長)

西前 克彦 (橋本市建設部 部長)

保田 彰 (橋本警察署 署長) 【代理出席】

櫻田 徹 (かつらぎ警察署 署長) 【代理出席】

狭間 裕司 (和歌山県企画部地域振興局総合交通政策課 課長) 【代理出席】

小原 秀紀 (橋本市 副市長)

土井 加奈子 (橋本市総合政策部 部長)

久保 雅裕 (橋本市健康福祉部 部長)

北岡 慶久 (橋本市経済推進部 部長)

欠席委員

寺本 伸行 (橋本商工会議所 会頭)

米田 恵一 (高野口町商工会 会長)

辻本 淳二 (南海電気鉄道(株) 橋本駅長)

土山 真敏 (橋本タクシー(株) 代表取締役)
船戸 直哉 (和歌山県伊都振興局建設部 部長)
森下 清司 (公益社団法人和歌山県バス協会 専務理事)
川村 昌彦 (一般社団法人和歌山県タクシー協会 会長)
西村 芳通 (一般社団法人和歌山県ハイヤー・タクシー協会)

事務局 (4名)

中岡 勝則 (橋本市総合政策部政策企画課 課長)
前川 朋久 (橋本市総合政策部政策企画課 課長補佐兼地域振興係長)
上原 慎太郎 (橋本市総合政策部政策企画課 主査)
乾 沙也香 (橋本市総合政策部政策企画課 副主査)

4. 司会進行

事務局が司会進行を行った。

5. 会長あいさつ

辻本会長が開会あいさつを行った。

6. 新協議会委員の紹介

新しく任命された協議会委員について、事務局より紹介を行った。

7. 会議資料

別紙1 令和4年度第1回橋本市生活交通ネットワーク協議会 次第
別添資料1 令和3年度コミュニティバス利用状況
別添資料2 令和3年度デマンドタクシー利用状況
別添資料3 橋本市生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)案
別添資料4 橋本市地域公共交通計画の策定について
別添資料5 橋本市地域公共交通網の見直しについて

8. 議事項目

協議会規定に基づき、会長が議長となる。

(1) コミュニティバス・デマンド交通の利用状況等について

【事務局】 コミバスについては前年度と比較して利用者数が8%増加。また、東部線を除く3路線については運行継続基準である15%まであと少しというところまでできており、特に西部線は1年間のうち半分の月で基準を達成した。コロナ感染拡大の影響については、まん延防止等措置期間に影響が見受けられたが、その他の期間については利用状況が安定してきており、市民の生活に浸透してきたことが読み取れる。デマンドについては、年間の利用者数が661人。路線ごとに利用状況に大きなばらつきがあり、最も多い紀見峠線で203人、反対にフルーツライン線については0人とまったく利用いただけていない状況であった。

➡意見なし

(2) 橋本市生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）（案）について

【事務局】 橋本市生活交通確保維持改善計画について。内容は大きく変更していないが、前年度の利用状況を鑑みて、目標を引き上げている。

➡意見なし、承認

(3) 橋本市地域公共交通計画の策定について

【事務局】 事務局の案についてご説明する。計画は5か年、必要があれば期間中に随時改訂する。策定方針としては、令和2年に再編した減殺の交通網をベースに、ソフト面での利便増進や市民の愛着を醸成するような内容としたい。また、「計画策定ワーキングチーム」を協議会幹事中心に組織し、必要に応じて関係団体を招集する形で議論を進めたい。審議内容については都度、協議会に諮っていく。スケジュールについては資料の通り。10月にパブリックコメントの募集を実施したい。計画策定においては補助金の申請にも大きく関わる部分であるため、必要要件をしっかりと押さえる必要があることを確認しておく。現在の課題と現状、理想とする姿を昨年度の各種調査・アンケートから資料のとおりまとめ、取り組み案を示す。ぜひ意見をお聞かせ願いたい。

【会長】 策定については大まかな進め方を示していただいた。詳細についてはワーキングチームにて協議し、内容を固めていくということになる。引き続きご協力をお願いしたい。

(4) 橋本市地域公共交通網の見直しについて

【事務局】 見直し案については資料のとおり。最後のページに地域懇談会の開催実績と今後の予定を掲載している。その中で山内地区から寄せられた「農場前」停留所を残してほしいという意見により、あやの台線のルート変更を初期案に追加した。

【会長】 地域懇談会の中で「デマンドタクシーを土曜日に運行してほしい」という意見があったようだが、どう回答したのか。

【事務局】 山内地区については「なぜ路線バスを廃止するのか」という意見がまず出た。民間事業者が運行しているため赤字には耐えきれなかった、その分デマンド交通でカバーするということで回答したところ、概ねご納得をいただいた。土曜日運行についてはその場では回答せず、「検討する」ということで持ち帰っている。

【会長】 今後も地域懇談会については引き続き開催予定があるとのことなので、事務局には引き続きお願いする。

(5) その他

【岡委員】（橋本警察署）民間事業者など、多くの方が集まるこの場をお借りして、警察からお話させていただく。今、全体の交通事故件数は減少しているが、高齢者の事故が減っていない。そこで、運転免許の自主返納を促進したいのだが、移動手段がなくなるということでなかなか進まず、下げ止まりである。そこで、自主返納した方に対してメリットがあるような施策を進めたい。例えば、運転経歴証明書の発行費用の補助や、バス回数券の配布など。先日市に相談させていただ

いた際、民間事業者や市民団体など多くの方が集まるこの場で発言してはとのことだったので、ご提案をさせていただく。民間事業者にも賛同、またご意見をいただければと思う。なお、橋本市は2つの署の管轄になるので、橋本署・かつらぎ署の共同事業となる。この場で必ず意見をということではないので、ぜひ持ち帰って、「こんなことができる」とご提案いただきたい。

【会 長】免許返納に関しては、公共交通施策と併せて進めていく必要がある。今この場でご意見はあるか。

【平岡委員】(大阪第一交通株式会社) 当社では、免許返納者に対し運賃を1割引している。ぜひ、警察でご案内いただきたい。

【会 長】この後、この場で名刺交換などしていただいて、情報交換してはどうか。ご意見があれば事務局を通じて、または警察へ直接お伝えいただきたい。

9. 副会長あいさつ

渋田副会長が閉会あいさつを行った。